

くわばら

# 桑原地区

面積：6.1 km<sup>2</sup>

人口：25,580人（高齢化率 26.2%）

世帯数：12,327世帯

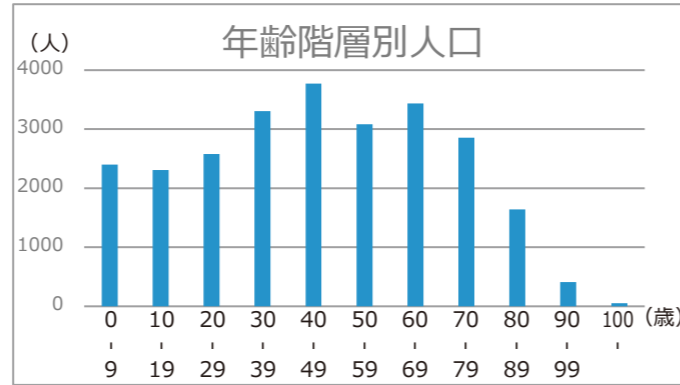


## 【地区の特色】

桑原地区は、松山市の東に位置し、経石山（きょうせきざん）古墳があり古くから開けていた町である。また、松山藩主久松氏の別邸が「東野お茶屋跡」として残っている。現在は団地やマンション等の建設が相次いでいるが、一部農家も残っており山林、田畑、果樹園が占める面積も多い。伝統行事（獅子舞、子ども相撲）の継承活動も続けられており、古い時代の良い部分を残しながら発展している。



淡路ヶ峠から望む桑原地区



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者多機能型事業所きらりの森と児童館が併設されており多くの人々が利用している</li> <li>市内にも近く、自然にも恵まれており住みやすい環境である</li> <li>2つの大学があり学生や留学生との交流の機会がある</li> <li>交通の便もよく、生活関連施設にも恵まれており、生活がしやすい</li> <li>まちづくり協議会の存在が大きい</li> <li>防犯対策が進んでいる</li> <li>町内行事に参加者が多く、協力的である</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部地域（東野・正円寺・三町）はお店が無く、買い物に不便である</li> <li>一部地域はバス停までの距離が遠く不便である</li> <li>一部の地域や世代では行事への参加が少ない</li> <li>災害の時、東野や畑寺の一部で山崩れやため池の氾濫が不安材料となる</li> <li>大雨による川付川の氾濫の不安がある</li> <li>一部の住民でゴミ出しルールが守られていない</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会所のない地区（東野1丁目）があるので、横の繋がりが取りにくく、防災の時困る</li> <li>買い物場所が近くにない地域が多い（東野、正円寺、三町）</li> <li>通学路が狭くて危険な場所がある（桑原保育園前、東本の市道桑原18号線）</li> <li>桑原中学校付近は、通学路が暗く人通りが少ないため、防犯面で不安がある</li> <li>高齢化で独居世帯や空き家が増えている</li> <li>小中学校の学校選択制により、同じ町内でも近所付き合いが希薄になる</li> <li>共働き世帯が多くなり、横の繋がりがつくりにくい</li> </ul>

## 桑原地区社会福祉協議会

桑原の郷 みなでささえて安心ぞ！なもし

構成団体	地区民協・公民館・水利組合・校区婦人会・町内会・自主防災・消防団・防犯協会 高齢クラブ連合会・土地改良区長会・女性防火クラブ連合会・遺族会・交通安全協会 中学校・小学校・支所・まちづくり協議会・広報協議委員会・更生保護会・体育協会 いきいきサロン
主な取り組み	活動内容
福祉講座の開催	地域で高齢者が健康で安心して生活できるように、毎年3地区ごとに福祉講座を開催しています。
福祉教育の充実	桑原中学校の生徒が高齢者福祉施設を毎年2回訪問し、利用者の方々と交流を深め、人を敬う気持ちを育てています。
独居高齢者給食サービス	70歳以上の独居高齢者の方々に、特別メニューのお弁当を民生委員・児童委員の協力を得て配布し、喜ばれています。

## 高齢者ふれあい運動会（11月頃）

平成24年から開催している65歳以上の高齢者の運動会で、毎年150名以上が参加しています。高齢クラブやいきいきサロン、地域の高齢者の健康増進や交流の場になるよう活動を支援しています。



## <地区社協が目指すもの>

桑原地区は、世帯数12,327世帯、人口25,580名（平成30年4月現在）と松山市40地区の中で6番目に多くの皆さんが生活されています。私たちは「治安が良く安全で、健康で安心して生活できる」環境が整っていることが福祉の充実した「まち」だと思います。桑原地区社協は、高齢者の生きがいつくり・健康増進等のための「サロン」の増設や特に男性参加者の増員を図り、また青少年の健全育成、地域の防災・減災・防犯対策、さらに隣近所の挨拶から会話や助け合いのできる「まち」の実現に注力する等、地区内の各団体とも協働し一層の地域福祉の向上を目指します。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	39名 2名	■町内会・自治会・区長会等	22団体
	■まち協の設立	平成21年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	7クラブ 14団体 22組織

市内中心部に近く、自然も多い桑原地区は、東環状線が通ったことでさらに生活環境が整い、新しいマンションや住宅も増えています。高齢化が進むなかで、地区社協と地区民協が中心となった独居高齢者給食サービスにみられるような福祉的な支援のほか、高齢者ふれあい運動会等のイベントなど、高齢者がやりがいや楽しみをもって暮らせるような取り組みが実施されています。活動が継続できる背景として毎月、いきいきサロン代表者が連絡会を開催し、サロン間の情報交換の場をつくり活動を支援していることがあげられます。さらに中学生を対象とした福祉教育は若者が高齢者や福祉サービスへの理解を深める重要な場となっています。



# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
中島地区	

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

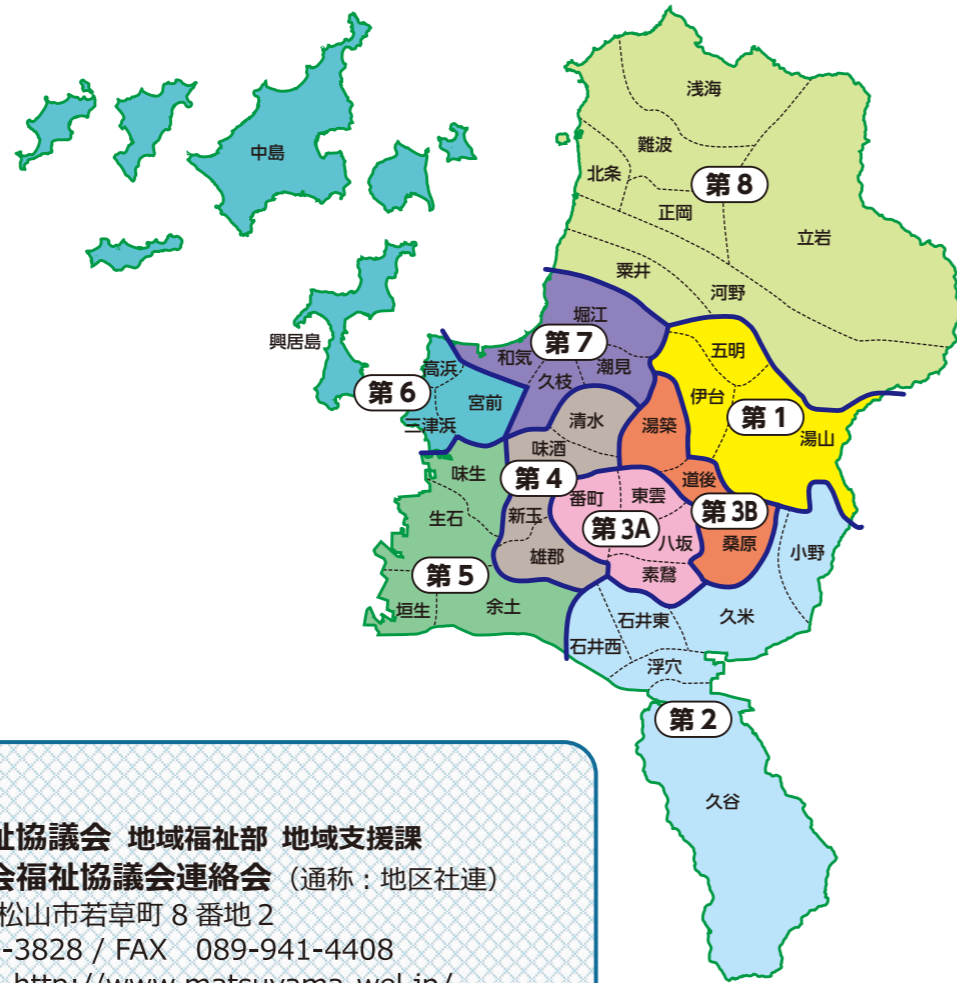
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏